



一般社団法人
日本看護研究学会
Japan Society of Nursing Research

ニュースレター

第8号

2023年7月25日 発行
編集発行
日本看護研究学会
(事務局)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目39-2-401
株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内
一般社団法人日本看護研究学会 事務局
TEL: 03-3982-2030 (直通)
FAX: 03-5981-9852

主な記事

理事長より / 50周年記念事業 / 学術集会情報 / 委員会からのお知らせ
地方会からのお知らせ / 編集後記

理事長より

一般社団法人 日本看護研究学会
理事長 浅野 みどり



会員みなさま、日頃は本学会の活動にご尽力いただきありがとうございます。

ご承知のように、新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日より、いわゆる2類相当から「5類感染症」になり、毎日の全数把握から全国約5,000か所の定点医療機関での週毎の把握となりました。約3年にわたる様々な行動制限から解放されて、人々の往来はもとより海外からの旅行者も倍増していることもあり、“現状は『第9波』になっていると判断するのが妥当”との見解も出ています。会員の皆様におかれましても、この夏は久しぶりにご親戚や友人の方々との交流を心待ちにしていることと拝察いたします。今年こそは、みなさまがよい夏を過ごされますことを心より願っております。

さて、6月25日に社員総会を終え、無事に2022年度事業報告、2022年度一般会計・特別会計決算、監査報告など第1号議案～第6号議案までご承認をいただきましたことを感謝申し上げます。会員の研究活動の更なる活発化を支援するための『Nursing Innovation Seeds基金』の創設が、今回特筆すべきことかと思えます。前期理事会の意向を受け継ぎ、将来構想委員会を中心に準備を進めてきた「Nursing Innovation Seeds基金規程」が承認の運びとなり、まもなく動き出しま

す。この基金は、本学会の正味財産期末残高（いわゆる繰越金）が過剰となることなく予算を有効活用し、会員みなさまに適切に還元するために創設されました。その目的は、「看護学全体を包含する日本看護研究学会として、社会の多様なニーズや課題解決につながる融合研究、国際共同研究への発展が期待されるseedsや活動を支援すること」にあります。本学会事業の一つとして、学会のミッションや特徴を明確化し、本学会の魅力アップのための重点事業を選定し、その活動を促進・支援するものです。本学会の会員数は、2015年4月の6,272名をピークとして、残念ながら若干ですがここ数年漸減傾向にあります。これまで本学会が行ってきた「奨学会」「学会賞」「奨励賞」等による会員支援に加えて、『Nursing Innovation Seeds基金』の創設による会員支援の強化が、会員数の増加にも功を奏することを期待しています。加えて、将来構想委員会のもとに「実践研究活動推進WG」では“仲間と研究をつなごう会”をオンラインで継続開催し、草の根的な研究推進活動も行っています。本学会の様々なリソースを、老若男女、所属（臨床／アカデミア）を問わず、みなさまに積極的にご活用いただき、看護研究がますます発展することを願っています。

2023年7月吉日

50周年記念事業

日本看護研究学会50周年記念事業 準備スタート

50周年記念事業ワーキンググループ

委員長 安藤 詳子

本学会は、次期2024年度、第50回学術集会を迎えます。将来構想委員会では、会員の皆さんとともに、半世紀という重厚な歴史を振り返り、その足跡を刻み、これからの学会活動の更なる活性化と発展につながることを願って、50周年記念事業に取り掛かりました。昨年秋、本委員会のもとにワーキンググループを構成しました。初回ワーキングは2022年11月に開催し、現在、第5回まで重ねています。これまで、理事会、社員総会等に報告してきましたが、この度、ニュースレターを通して会員の皆さまに50周年記念事業計画の進捗状況をお知らせします。50周年記念事業は記念行事と記念誌作成という大きく2つの企画を計画中です。

まず、50周年記念行事として、第50回学術集会において、50周年記念座談会や50周年記念祝賀懇親会の開催を計画しています。座談会には、山口桂子先生、工藤せい子先生、深井喜代子先生、佐藤正美先生、吉永尚紀先生にご登壇いただくことになりました。平成20年に日本看護研究学会雑誌発行30周年記念誌を作成された際のこと、30年までの歴史、その後の20年、最近の新たな取り組みなどを振り返って共に語っていただきたいと思っています。そして、これまでの活動を受け継ぎ、例えば、実践研究活動推進ワーキングの取り組みや英文誌編集など、今後の学会活動の活性化に向けた将来設計など話題に挙がると思います。この座談会の内容は記念誌に掲載予定です。また、50周年記念祝賀懇親会については、第50回学術集会大会長を担当される上野栄一先生はじめ、実行委員の皆さまと相談中です。

そして、50周年記念誌については、基本、電子媒体による作成とし、歴代理事長・歴代学術集会長・歴代編集委員長等に祝原稿を依頼したり、広く会員からもメッセージを集めたり、さらに、学会賞及び奨励賞受賞者からの受賞後の研究活動状況レポート、学会誌の文献レビューなど考案しています。

第49回学術集会（8月20日）では、委員会企画として「JSNR50周年記念事業キックオフミーティング」（60分程）を予定しています。そこでは、参加者の皆さんとライブで話し合うこともできます。また、ホームページに記念事業のコーナーを設置し、ロゴマークも公表したいと準備しています。よりよい事業となるよう皆様からのご意見等も承りたく、お待ちしております。

JSNR50周年記念事業ワーキンググループメンバー

| 氏名（地方会 等） |
|---------------------------|
| ・村上 好恵（東京）【副委員長（記念誌）】 |
| ・佐伯 由香（中国・四国／和文誌編集委員長として） |
| ・藤井 徹也（東海） |
| ・行田 智子（関東） |
| ・河原 宣子（近畿・北陸） |
| ・勝山貴美子（東海）【副委員長（記念行事）】 |
| ・山田 律子（北海道） |
| ・木下由美子（九州・沖縄） |
| ・塩飽 仁（東北／広報委員長として） |
| ・安藤 詳子（東海／将来構想委員として）【委員長】 |
| ・岡山 久代（関東／将来構想委員として） |

委員会からのお知らせ

■国際活動推進委員会より

第49回学術集会での交流集会を行います。

「日本看護研究学会会員の国際活動の実態と国際活動推進委員会へのニーズに応じて」というテーマで、2023年8月20日（日）10：50-11：50に交流集会を行います。是非、ご参加ください。

地方会からのお知らせ

■北海道地方会

今年8月5日に、日本医療大学・山崎公美子学術集会長のもと、下記の要領で第31回北海道地方会学術集会が対面形式で開催されます。詳細は、北海道地方会ホームページ (<https://www.jsnr.or.jp/district/hokkaido/23.html>) や、6月15日付でメール送信した「北海道地方会ニュース第38号」をご参照ください。なお、事前参加申込みは7月21日（金）までとなっていますが、当日、会場にて参加受付も行っておりますので、奮ってご参加ください。

記

【テーマ】 「超高齢・多死時代における看護学教育と看護実践」

【期 日】 令和5年8月5日（土）13：30～16：30

【会 場】 日本医療大学 大講堂（札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号）

■近畿・北陸地方会

第37回近畿・北陸地方会学術集会（学術集会長：伊部亜希）は、「実践を支える看護研究－不確かな時代をしなやかに生きる－」をテーマとし、2024年3月16日（土）に、福井県敦賀市にあります敦賀市立看護大学で現地開催いたします。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

■九州・沖縄地方会

九州・沖縄地方会の会員数は729名（2023年4月1日）です。わずかですが会員数の減少が続いている現状があります。

九州・沖縄地方会では令和4年度、熊本保健科学大学荒尾博美教授のもと、「よりよい看護実践を目指す科学的探究」をテーマに対面方式で開催し、シンポジウムやスペシャルセミナー、一般発表など久しぶりに皆様と顔を合わせて意見交換し、充実した時間が過ごせました。

令和5年度は、7月5日にニュースレターを発行致しました。恒例の学術集会は、鹿児島大学松成裕子教授のもと「時空を超え、学際的な看護の研究に挑む 災害看護・高度実践看護師・離島へき地の連携－伝承・技・結－」をテーマとして、令和5年11月18日に鹿児島市において対面方式で開催する予定です。

— 編集後記 —

ニュースレター2023年第8号を皆様にお届け致します。

第49回学術集会がまもなく開催となりました。新しい学術集会の形にご期待ください。委員会、地方会からも研究会の案内が届いておりますので、是非ご参加ください。

また、本学会の大きな取り組みの一つである50周年記念事業についてお知らせしております。今後もニュースレターや学会ホームページ等で情報を発信していきます、楽しみにお待ちしております。（広報委員会）